

おごおり 議会だより

No.182

令和2年5月号

おごおりのたからもの



議会広報特別委員会では、この2年間、小郡市の未来を担う子どもたちにスポットをあて、『おごおりのたからもの』と題して、多くの子どもたちの写真を表紙に掲載させていただきました。

現在は、新型コロナウイルス感染症の影響により、国の緊急事態宣言も出され、子どもたちが笑顔で集える場所もなくなっています。

こうした事態が1日も早く終息し、子どもたちの笑顔であふれる日常が戻ってくることを切に願います。

寺子屋(地域の子どもたちを対象とした居場所づくり)※写真3月初旬撮影

- 2～4 P 予算審査、常任委員会活動報告、議員研修会報告
- 5～12 P 市政を問う・一般質問14人
- 13～14 P 常任委員会審査報告、議案の主な内容、人事案件、可決された意見書
- 15 P 議案審議結果一覧
- 16 P 賛否が分かれた案件、5月臨時会及び6月定例会の会期日程(予定)、編集後記

令和2年度 一般会計予算 前年度比17億円減の203億円 財政再建への道のり険し

「小郡市緊急財政対策計画」「予算編成に係る削減プラン」に
基づき編成”市民生活への影響を懸念”

予算審査特別委員会（全議員）は、3月3日から6日及び19日の計5日間、令和2年度一般会計及び特別会計予算などの8議案の審査を行い、原案の通り全員賛成で可決しました。

令和2年度一般会計当初予算は、前年度比8・0%（17億円）減の203億1700万円。また、特別会計は、国民健康保険事業が1億9582万6千円の増、介護保険事業が1億6847万円の増など、合計3億3082万円の増となりました。一般・特別・公営企業会計を合わせた市全体では、15億8454万2千円の減となっています。

財政調整基金残高に不安

令和2年度の予算編成に当たっては、歳入不足を補うため、市の貯金に相当する「財政調整基金（注）」を約1億円取り崩すこととなっています。このため、基金残高は、概ね本市に必要とされる20億円を大きく下回る12億5千万円弱まで減少しま

した。

（注）突発的な災害や緊急を要する経費などに備えるための基金。

市民生活への影響を懸念

令和2年度の予算は、令和元年度に策定された「小郡市緊急財政対策計画」「予算編成に係る削減プラン」に基づく、歳入に見合った歳出を基本とし、それぞれの担当部に配分された『枠配分方式』により編成されています。そのため、配分された予算内に収めるよう削減された事業もあり、市民生活への影響が懸念されるので慎重な審査を行いました。

議員間で討論した主な事業

保育所待機児童の解消

これまで市も様々な施策を行い努力していますが、幼児教育・保育の無償化が実施されたこともあり、待機児童の増加は極めて深刻な状況です。この問題を解消するには、さら

にスピード感を持って、今ある施設をさらに改築・増築することによる受け入れ可能な人数を増やすことや保育士の確保が必要であるという意見が出されました。
本件については、市に対して意見書を提出しました。

【意見書】

本市は、保育所待機児童対策として保育施設の整備と保育士の確保に努力されてきたが、待機児童の増加は極めて深刻な状況であり、問題の解消には至っていない。

よって市は、早急に対機児童解消のため、更なる方策を講じること。

小規模校魅力化推進事業

オンライン英会話

子どもたちの満足度は約8割あったという説明を受けましたが、学校現場、家族、地域の意見はどうなのか、5時間という限られた時間でどれくらいの成果があったのか、しっかりとした検証がなされたのかなど

の意見が出されました。そのような中、令和2年度の計画では、各10時間の予算が計上されていますが、支障なく授業に組み込むことができるのか、また費用・時間・労力対効果の検証が必要であるとの意見が出されました。

本件については、市に対して意見書を提出しました。

【意見書】

小規模校魅力化推進事業のオンライン英会話については、検証が十分に行われていない中、更に時間数を増やし実施されようとしている。

よって、本事業については、検証を的確に行い、学校現場の意見を十分に聴取した上で実施すること。

中心市街地活性化

基本計画策定事業

小郡駅周辺の活性化は、本市にとって重要な課題です。また、同時に策定が予定される立地適正化計画などの整合性も重要であり、今後、

多くの事業とともに長期にわたり予算が必要になってくるものと予想されます。このことから、相当な覚悟と情熱を持って、継続的に中心となり推進する人や組織を作ることが重要です。今後、随時議会に対する情報提供が必要だとの意見が出されました。また、計画は、実際に活性化に結び付けて初めて意味があるとの意見も出されました。

本件については、市に対して意見書を提出しました。

【意見書】

小郡駅周辺の活性化は本市にとって重要な課題であり、中心市街地活性化基本計画を策定・推進していくためには、事業に継続的に取組む人、組織が重要である。このことを強く認識して取組むこと。

運動器機能向上教室

教室参加者をタクシーで送迎していることについて、送迎が必要な参加者がどれくらいいるのか、タク

シーによる送迎が最適であるのか、参加費が無料というのは妥当か。またどれくらいの効果があったかなどの検証が不十分ではないかとの意見が出されました。

本件については、市に対して意見書を提出しました。

【意見書】

運動器機能向上教室については、参加者送迎の必要性等、再度、事業の成果及び費用対効果を含め検証を行い実施すること。

地域おこし協力隊事業

令和元年度の地域おこし協力隊発案で行ったスカイランタンなどの事業を令和2年度も継続するとの提案がありました。しかし、地域おこし協力隊は、新たな視点やアイデアで観光資源の発掘や、すでにある観光のブラッシュアップを行い、小郡の新たな観光事業を実施することが業務とされています。これに照らせば、令和2年度に隊員が交代する中、前

の事業を継続することは、隊員のやる気を削ぐのではないか、また活動の制約につながるのではないかとの意見がありました。その上で、隊員の活動に制約をかけすぎないこと、事業実施までしっかりとサポートを行い、最大の成果を生み出せるような環境づくりに留意して事業を実施するようにとの意見が出されました。

高齢者健康づくり（介護予防）ポイント事業

令和2年10月から試行予定ですが、事業の制度が十分に固まっていないため、事業が明確に決定され次第、議会に説明を行った後、事業を実施することとの意見が出されました。

所管事務調査

1月21日に保健福祉常任委員会の所管事務調査として、各保育所・園の見学をした後、小郡市保育協会の皆様と意見交換を行いました。

(調査内容)

保育所・園の現状と課題について

全国的な問題となっている保育士不足はもちろんのこと、障がい児加配保育に関しての意見が多く出ました。

保育士不足や待機児童の慢性化、配慮の必要な子どもが増加等、保育所等幼児の置かれている環境は厳しいのが現状です。人格形成に大切な時期の子どもの健全な環境づくりに、もっと力を入れるべきだと感じています。特に配慮の必要な子どものための巡回訪問支援事業の拡充は喫緊の課題です。保育士だけでは、発達障がいなのか、育ち過程の行動なのか、判断が難しいことも多いよう

です。早期発見のためにも巡回サービスや、支援機関の連携強化は今後さらに必要だと感じました。

委員会として、担当部署へ意見交換の全内容を伝え、課題の改善に向けて前進させてまいります。



議員研修会

2月18日に総務文教常任委員会の企画により、市役所にて研修会を行いました。

(研修テーマ)

「スマホ社会の落とし穴く子どもたちの育ちにどんな影響があるのか」

(講師) NPO子どもとメディア

代表理事 清川 輝基氏

スマホが社会に普及して、小学生も多く利用しています。保護者が育児の際に利用できるアプリも開発されています。子どもの成長にスマホがどのような影響を与えるのかについて、「NPO子どもとメディア」代表理事の清川輝基氏の講演を開き研修しました。スマホに子守りの手助けをもらうことが増えていきます。しかし、幼い頃からスマホの画面を見続けることによって、視力の低下、斜視など眼への悪影響があります。その上、親も子どももスマホばかり見ることで、親子の大事なふれあいの時間を奪われてしまいます。さらに、小学生・中学生になってスマホを長時間使用すると、体を動かさないことによる体力の低下や、夜使うことによる睡眠不足になり体内時計が狂うこともあります。また、SNSなどの使用で人と直接話す時間が減り、コミュニケーション能力が低下することや、長時間使用による脳へのダメージも指摘されました。スマホをはじめとするIT機器は便利なもので、今の生活に不可欠な

ものです。しかし、特に乳幼児から未成年までは、使い方や使用時間を間違えると様々な悪影響が出ますので、そこを大人がしっかりと理解し指導する。このことの重要さをその理由と共に再認識することができました。

新型コロナウイルス感染症に

関する対応について

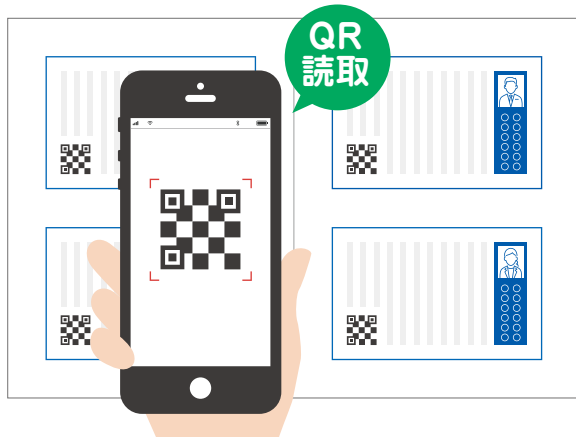
4月7日に発出された国の「緊急事態宣言」を受け、8日に会派代表者を開催し、新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた対応について市より説明を受けました。

同日、市民への広報・伝達について、また経済対策を含む市長の対応等について、議長から市長に対して申し入れをしております。

一般質問のインターネット録画映像がスマートフォン等でもご覧いただけるようになりました!

いつでもどこでも

QRコードをスマートフォンなどで読み取ると、録画映像が見られます。



映像を見るには…

各議員の一般質問の記事の左下にある「QRコード」をスマートフォンやタブレットで読み取ると、録画映像をご覧いただくことができます。



個人質問												代表質問		3月定例会一般質問通告一覧表		
1	2	1	1	1	2	1	2	3	2	1	1	1	1		1	1
フレイル予防による健康長寿のまちづくりについて	第2次小郡市男女共同参画計画施策見直しについて ゴミ減量の対策への取り組みについて	令和2年度予算と財政再建について	緊急財政対策計画中の既存計画事業の推進について	市長の政治姿勢・方針について	食と農の推進について 新型コロナウイルス感染症対策について	図書館運営について 文化財行政について	学童保育について 障がい児保育について 国民健康保険税について	新型コロナウイルスについて	新たな地域自治	市職員の働き方改革について	個人情報保護、情報公開の現状と課題について	財政健全化計画について	施政方針について			
後藤 理恵	大場 美紀	古賀 敏彦	廣瀬 勝栄	山田 忠	百瀬 光子	深川 博英	小坪 輝美	田代 和誠	田中 雅光	佐藤 源	新原 善信	高木 良郎 志成会代表	井上 勝彦 おごおり創志会代表			

一般質問については、議場での発言に基づき、質問者(本人)が編集しています。



井上 勝彦
(おごおり創志会)

施政方針について

災害に対する備えや対策をどのように進めていきますか。

市長 防災体制強化のために新たに防災安全課を設置します。2年続いた豪雨災害の教訓から、いかなる浸水被害が発生しても人命が損なわれないことを最優先し、国土強靱化地域計画を策定します。また、河川の浚渫により、越水や堤防の決壊対策と併せ、雨水の貯留対策や保水機能を強化し、減災・縮災に取り組みます。

公共施設 (体育館・庁舎・食と農の複合施設) の整備にどのように取り組めますか。

市長 1体育館は国の補助金を活用する方針で令和3年度中に整備スケジュールをお示しする予定です。庁舎は民間活力 (PFI) を導入し、さらに庁舎用地を活用した賃貸物件の整備を同時に行うことで、新庁舎建設費の償還金に充てることも視野に入れ、整備していく方

針です。食と農の複合施設は民間事業。パートナーとの連携を進め、令和2年度中の整備方針策定を目指します。

交通弱者や運転免許を返納された高齢者への移動支援について伺います。

市長 デマンドタクシーの導入と自治会バスの有償化による市民参加型バスの取り組みです。高齢者の運転免許返納は自由度の高いマイカーの代替手段が前提となつています。乗る側を起点としたデマンドタクシー (利用者希望する時間に希望する場所まで送迎) の導入について調査研究を進め、来年度中に制度設計する予定です。

自治会バスは、法に基づき登録を行うことにより、有償運行が認められるよう変わってきています。現在2つの校区で運行されていますが、有償による新しい市民参加型のバスを研究し、さらに多くの校区で自治会バスが運行できるよう取り組みます。



高木 良郎
(志成会)

財政健全化計画について

今年の予算編成にあたり考慮されたこと、市民生活に対する影響についてお尋ねします。

市長 市民生活に大きく影響するような削減は行わないという考えで予算を編成しました。削減の中身について具体的に説明願います。

経営政策部長 1投資的経費の削減や事務事業の見直し、総人件費の圧縮を行いました。

財政再建 には一般財源の削減が急務ですが、削減はわずか5200万円です。基金は取り崩さないとのことですが、土地開発公社からの寄付や土地の売却等の4億円を含めていませんか。
経営政策部長 1計画で繰り入れる予定の財源でした。

枠配分方式 により削減したというのですが、立場の弱い所や切りやすいところを切っていないませんか。市民生活に影響が大きい公共施設開館日の見直し等をおこなわれていますが、コ

ミュニティセンター開館日見直しの削減効果は8館で年間61万円、年間2600人が利用するプール助成金も削減効果は65万円しかありません。カットするのはどう判断ですか。

経営政策部長 1市民への影響を最小限に抑え、共に経費削減を踏まえて見直しました。

体育館建設 の時期は検討委員会では令和3年の予定ではなかったですか。

副市長 1令和5年以降に建設する方向で調整中です。

令和5年から考えるのなら、いつになるのでしょうか。

副市長 1財源確保を検討中です。消防署の建て替えは令和5年だそうですが、国の特例債が使えないため5億円近く余計に費用がかかりませんか。

副市長 1特例債の継続については国の議論が整っていません。

食と農の複合施設、給食センター 建替えの時期はいつですか。

副市長 1令和2年度中に方向性が示されれば、いいなと思つています。





新原 善信
(市民クラブ)

小郡市民の個人情報

守られていますか

個人情報について保護審議会
で問題とされたこと、行政、学
校、地域等での取り扱い、ネッ
ト上の人権侵害の現状と対応、
記録媒体の保守管理についてお
尋ねします。

市長―審議会での審議例として
国からの法定受託事務の中で、
個人情報や自衛隊へ提供するこ
とについて諮問し、審議会の答
申を受けて運用を改めた事例な
どがあります。

行政、地域などでの個人情報
の取り扱い、平成29年の法改
正で、NPO、自治会、学校の
同窓会なども法の適用対象とな
り、小郡市では、自治会や民生
児童委員などへ個人情報保護の
手引で注意点を示しています。

インターネット上では、部落
差別解消推進法にあるように人
権侵害が横行していることから
モニタリング事業の実施や講演
会の開催などを行っています。

記録媒体からの情報流出防止
策は、業者との保守業務契約に
個人情報の取り扱いや機密保持
義務に関する内容を規定し、契
約終了後も情報の漏えい防止を
求めています。

行政情報開示はできていますか

情報公開の対象文書、公開ま
での庁内の手続き、職員への制
度の周知についてお尋ねします。
市長―対象となる文書は、条例
により、市職員が職務上作成
し、または取得した文書や写真
フィルム及び電磁的記録であつ
て、現に保有しているものと規
定されており、保存年限を超え
たものでも廃棄されずに保存さ
れていれば開示の対象となりま
す。

行政文書は原則開示ですが、
個人や法人などの権利利益を侵
害する場合には開示しないこ
とが条例で定められています。
その判断は所管課と総務課が協
議して決定する必要があります。

職員に対しては、情報公開条
例の逐条解説を庁
内の情報共有シス
テムに掲載し、周
知しています。

知っています。



佐藤 源
(おごおり創志会)

小郡市職員の

時間外勤務について

以前、市職員の時間外勤務削
減のための手法について伺いま
したが、令和2年度予算におい
てどのように反映されたのです
か。また、市職員の働き方改革
をどう進めていくつもりですか。
市長―時間外勤務が年々増加し
ている状況を踏まえ、時間外勤
務の事前命令を徹底し、日頃か
ら事務や業務の分担の見直しを
行うことにしています。効果と
して、去年7月から今年1月ま
での時間外勤務時間を平成30
年度と比較すると、全ての月で
下回っており、18%減少してい
ます。

令和2年度当初予算では、平
成31年度の時間外勤務時間数の
見込みを10%削減することを目
標に予算を計上しています。こ
の目標を達成するために、業務
自体の縮減を行います。縮減に
よって、時間外勤務の削減はも
ちろん、ワークライフバランス

の充実、働きやすい職場環境に
もつながり、より良い市民サー
ビスを提供できるようにしてい
きたいと考えています。

平成31年度の当初予算と比べ
て10%削減したのですか。
経営政策部長―平成31年度の補
正予算と比べて10%削減した予
算を計上しています。

小郡市職員の各種会議について
勤務時間の中で大きなウエイ
トを占める「会議」について、
改革の議論があつてしかるべき
だと思いますが、いかがですか。
市長―自治体の運営する会議は、
根回しされた意思確認の場が多
く、参加が目的化する会議が多
いといえます。準備にかかる時
間も多いと言わざるを得ませ
ん。会議時間というのはまさに
時間の投資であり、改めてコス
トになることを職員と共に認識
し、会議開催の見直し、時間短
縮、資料の簡略化、メール活用
などを検討するきっかけにした
いと考えています。

知っています。





田中 雅光
(公明党)

まちづくり条例作成について

これまで議会から、補助金や交付金の根拠となる条例制定について意見書を提出していますが、現在の規則のまま、これから作成する条例に盛り込まなくても法的に問題は無いのですか。
市民福祉部長 今回の条例では、まちづくりに関わる主体を応援することを内容としたうえで、その条例を根拠とした規則等により個別の支援を規定する方法を考えているところです。

コミュニティセンターの役割について

以前から市民活動支援センターの新設を提案していましたが、とりあえず今のコミュニティセンターを1つの活動センターと位置づけて、ある程度開放してはどうかと考えます。各地域に拠点を置くことで、そこに交流が生まれ、お互いに協力しあったり、人材輩出にもつながっていくと思います。

そこで、**①市民活動支援セン**

ターを明確に位置づけることについて**②**のぞみが丘校区コミュニティセンターは特に狭く、まちづくり協議会の懇談会の中では、校内移設という話も出ていましたが、将来的に何か考えていますか。

副市長 **①**既に、協働のまちづくりという形で取り組んでいる自治体の中には、市民活動支援センターというものが明確に位置づけられています。これは、重要なものと認識していますので、条例を作成する中で、市民活動支援センターの重要性を認識しながら、取り組んでいきたいと思えます。

市長 **②**のぞみが丘生菓館の場合には、学校の中に施設があるという意味では、大変特徴的なものであると考えています。今後は、学校教育と生涯学習、社会教育、まちづくりなど、いろいろな目的を両立させていくには、学社融合というテーマの中で、施設の利活用について考えていかなければならないと思っております。



田代 和誠
(志成会)

新型コロナウイルス

いつでも動ける準備を！

市長 答弁ではシミュレーションを重ね、最悪の事態を想定しているとのことでした。実際に小郡市内の方が感染したらどのような対応になるのでしょうか。
①市民 **②職員** **③教育現場**において感染者が出た場合を時系列で詳しくお願いします。

子ども・健康部長 他自治体の事例等を参考に検討しています。が、時系列で詳細までは定めておらず、個別のシミュレーションはしていません。

直ちにやっていたきたいと思えます。また、市長の考える最悪の事態とはなんでしょうか。
市長 現在、業務がどの部分で欠如するかを規定し、それに基づいて応援体制をつくる確認にとどまっています。しかし、速やかに業務の重要性、市民への密接度、緊急性などを分析し、対応する意識を持っておかなければいけないと認識しています。

最悪の事態については、さまざまなケースが考えられますが、一番に避けなければいけないのは、市内でクラスター感染が発生することだと思っています。

クラスター感染により緊急事態宣言が出され、まちが機能しなくなり、商工業やサービス業がどんどん潰れていく。ウイルスで亡くなる方も出て、それ以上に経営難でウイルスではなく、自ら命を絶つ人が出ることが、最悪の事態ではないかと思えます。そうならないためにも密なシミュレーションをお願いします。

市長 議員の問題意識、ご指摘については、大切に考えなければいけないと思っています。

ただ、主な対応や情報の管理等は県が行うため、県との連絡を密接に持ちながら、何か起きた時には直ちに連携をとれる体制こそが大事だと思っています。緊張感を持って準備したいと思っています。





小坪 輝美
(日本共産党)

国民健康保険税について

小郡市においては、来年度から保険税を値上げせざるをえないとのことですが、来年度の改定についてお尋ねします。

市長―県の激変緩和措置の縮小により、小郡市の事業費納付金が増加しました。今後も増加傾向にあるとのこと、保険税率については改定の検討が必要と判断しました。今回の改定は、事業費納付金の増加に対応していく中で、被保険者の急激な負担などに配慮し、県から示された標準保険料率に段階的に近づけていくための改定です。

具体的にはどれくらい上がるのかお尋ねします。

市民福祉部長―65歳以上、単身、年金収入120万円の場合は、年額17000円の増加、40歳代夫婦と子ども2人の世帯で所得が300万円（給与所得で442万7千円）の場合は、年額1万5000円の増加になります。事業費納付金についてお尋ね

します。

市民福祉部長―県が保険給付費等を市町村に給付し、市町村は被保険者数や所得水準、医療費水準に応じて県が配分した納付金を納める仕組みです。保険給付費などが増加すると納付金も増加するという関連性があります。納付金の増加を抑制するために、保険者努力支援制度の活用を図っています。

この制度は、国が市や県の取り組みを評価し、補助金を交付するもので、具体的な評価指標として、特定検診の受診率やジェネリック医薬品の普及率、保険税の収納率があります。

以前からお願ひしていた「収入が激減した方への減免制度」について、今後ますます必要性が高くなるものと思いますが、進捗状況をお尋ねします。

市民福祉部長―本市の実情にあった形で制度化できればと考えています。令和2年度中には対応できるよう、制度化の準備を進めていきたいと考えています。



深川 博英
(志成会)

図書館運営について

加地市長就任以降の図書購入費削減について、市長の見解をお伺いします。

市長―図書購入費については、教育委員会内で議論いただいたところです。私の就任前にも図書購入費が前年度と比べて少なくなっている年度も少なくなく、その時々判断があつたのではないかと思えます。図書購入費に制約があれば、選書をさらに丁寧にしてもらわなければならぬと考えています。

ブックスタート事業の絵本バッグの予算が削減されていることについてお尋ねします。

教育部長―緊急財政対策計画を受け、図書館の予算において削減できるところは無いか検討しました。本事業については、これまで2冊お渡ししてきた本を1冊にする、もしくは布製バッグを廃止するか検討しました。バッグについては、新1年生に黄色い図書館バッグを渡して

おり、小郡市民には、2回、図書館関係でバッグをお渡ししています。本を1冊にするというのは、事業自体に大きな影響が出るということで、布製バッグはやむを得ず、今回廃止しました。

文化財行政について

小郡市指定の文化財の取り組みについてお伺いします。

教育部長―特定の地域に偏った取り扱いではなく、文化財を取り巻く地元、地域住民が文化財を継承する担い手として行う主体的な活動に対して支援していきます。ソフト面とハード面に対して補助事業の活用、宝くじの助成などメニューの提案等も必要と考えています。





百瀬 光子
(公明党)

食と農の推進について

地域の農業が安定し、地域農産物が市民に十分に供給される仕組みは大切です。そこで①多様な担い手の育成と確保について②農業経営の安定化に向けた取り組みについて③地産地消の推進についてお尋ねします。

市長―②生産の安定化に向け、農業ため池や水利施設などの環境整備や少ない労働力で最大限の効果を生む機械導入補助事業を行っています。③地産地消は宝満の市が推進拠点となるよう支援に取り組んでいます。また、中小規模の農家は地元中心に、学校給食への納入も行われています。

環境経済部長―①農業の担い手の大規模経営を促進する為、農業経営の法人化や農地の集積を図るとともに、中小規模農家等に対しては、販路である直売所者の充実を図っています。②消費者ニーズへの対応については課題があるので、農業者団体での

学習会をしていこうとしています。③地域おこし協力隊が、地産地消コーディネーターとして、宝満の市の支援、特産品開発の情報収集、小郡フアーマーズマーケットの企画・運営などに携わっています。

新型コロナウイルス

感染症対策について

①予防及び重症化予防の取り組みについて②市民への周知啓発についてお尋ねします。

市長―①対策会議を開き、市主催のイベントの中止、小中学校の休校、施設の開放の中止を一時的に行なっています。②国や県から最新の情報を入手し、広報他あらゆるメディアを通じた正確な情報提供により周知啓発に努めています。

市民福祉部長―①地域の見守りや声かけ活動は極力電話での間接的な手法で実施し、障がい児については臨時休校中の居場所の把握に努めています。②聴覚障がい者には県の相談窓口フックス番号を通知しています。



山田 忠
(志成会)

市長の政治姿勢、方針及び市政運営についての自己評価は

市長は施政方針の中で「つながるまち小郡」の取り組みをさらに加速させると言われていますが、新年度に予算計上されている事業を見て感じることは、当市の持つ立地条件や、ポテンシャル等を踏まえた独自の政策、施策があまり見当たらないことです。「つながるまち小郡」による市長自身のまちづくりに対する貢献度をどう考えておられるのかお尋ねします。

市長―就任当初から市民との対話を大事にし、市民起点で考える市政運営に取り組んできました。大きな課題に対しても職員と一体となったつながりによる意識改革、組織改革が進んでいます。

公約推進における変化について
市長のマニフェストに掲げられた体育館、道の駅建設については市民の多くが期待していますが、公約は今日のように進ん

でいますか、また今の状況をどう捉えているかお尋ねします。

市長―食と農の複合施設（道の駅）は基本計画の策定に着手し、約束通り着々と進行しています。体育館は、将来に負担を残さないダウンサイジングや性格づけを変え作業を行っており、方向性どおり進んでいます。

第6次総合振興計画

策定について

策定に向けての市民アンケートによると、10代から20代の若者の「転出したい」が、平成21年度の調査から13ポイント上がっています。その理由と行政の努力でどう改善するのかお尋ねします。

市長―数字については、この10年間における第5次総合振興計画の評価を見直していかなければいけないと思います。第6次総合振興計画においては、若者が今後このまちに住み続けるには、どういう要素を取り入れるのか、しっかりと課題として考えていきたいと思えます。





廣瀬 勝栄
(市民クラブ)

緊急財政対策計画中の

既存計画事業の推進について

緊急財政対策計画を受け、今後の事業計画について4点にわたり質問します。

新総合体育館の建設についてお尋ねします。

市長―現体育館の老朽化が著しく、機能面においても課題があることから、建て替える方針は変わっていません。現段階では、財政的に有利な起債事業について、国、県と協議を行っているところです。

給食センターの建て替えについてお尋ねします。

市長―用地の選定を進めています。さらに、整備、運営、建物の維持管理などについて、民間の力を活用することを検討していきたいと考えています。

三井消防署の建て替えについてお尋ねします。

市長―久留米広域消防本部による事業であり、消防体制整備計画の中で整備することが予定されています。



れています。小郡市でも緊急財政対策計画の財政見直しにおいて整備することを織り込んでいます。

昨今の豪雨災害の状況に鑑み、建て替えによって、将来の地域の防災拠点としての役割が強化されるものになるよう、消防本部と協議してまいります。

下水道事業についてお尋ねします。

市長―現在、立石校区と味坂校区の整備を進めています。今後令和2年度に下水道の事業認可区域の変更を行い、立石校区と味坂校区の残りの下水道整備予定区域について、その後5年以内に公共下水道の整備を行う区域内に編入する予定です。令和7年度完了を目指して整備することを目標としています。



古賀 敏彦
(志成会)

令和2年度予算について

どの様なことに留意され予算を編成されたのですか。

市長―市民生活に大きく影響するような予算の削減は行わないという点に留意しました。

市民生活に大きく影響するような削減は行わないとはどういうことですか。

市長―施設利用等について市民の皆さんが補い合うことができれば大きな影響がないと判断しています。

財政再建について

健全な財政運営なくして市政運営はできません。加地市長が、一般家庭における普通預金にあたる財政調整基金を前市長から受け取ったときは、29億7千万円ありました。しかし、小郡市

緊急財政対策計画によれば、加地市長就任2年後の平成30年度決算見込みでは、11億3千万円になるようですが、大丈夫ですか。

市長―枠配分方式により、財政

調整基金の取崩しを抑えることが出来ました。今後は基金の積み増しを図ってまいります。

経常収支比率が筑後地区で一番悪く、加地市長になって1.5ポイントも悪化しています。このことについてどの様に考えますか。

市長―扶助費の増大等により悪化しましたが、人件費の圧縮や公債費の見直しをおこなってきました。

その様に努力しても1.5ポイントも悪化したのでは、努力したと言えるのでしょうか。

小郡市緊急財政対策計画によれば、財政調整基金が3年後の令和4年度までに1400万円しか増えません。このような計画そのものが如何なものでしょうか。200億円の予算規模なら、最低でも20億円は基金を持っていなければ健全な財政運営はできないと思います。

経営政策部長―令和元年度末には13億600万円ですが、決算時にはもう少し増えると考えています。





大場 美紀
(おごおり創志会)

**第2次小郡市男女共同参画計画
施策見直しについて**

男女共同参画推進室が設置されていますが、室長は秘書広報課長（令和2年4月1日から機構改革により総務広報課長）が兼務で係長も配置されています。この体制で見直した計画の実現が図られますか。

経営政策部長 第2次計画推進のためにも次年度の体制については、識見ある方を迎え取り組んでいきたいと考えています。

庁内の育児休業取得について
育児休業を長期に取得した場合の職員の補充は、どのようにされていますか。

経営政策部長 基本的には、臨時職員を配置しています。

臨時職員での対応で、業務遂行に不具合はありませんか。

市長 より高度な専門的知識を必要とする場面が増えてきます。安心して育児休業が取得できる、また周りの方も優しい気持ちで送り出せる、そのような環境づく

くりは必要です。今後任期付職員制度の活用を検討したいと考えています。

ごみ処理について

ごみ処理の費用には、収集、運搬などの委託料並びに施設費などがありますが、現状の経費の内訳及び一人あたりにかかる金額についてお尋ねします。

環境経済部長 経費についてはじん芥処理費で予算化しています。平成30年度決算は10億5692万円です。一人あたりにかかる金額は、クリーンヒル宝満の起債償還分を除いた額で1万2618円です。ともに過去5年通して増加傾向にあります。

ごみの戸別回収は経費がかかるのとありますが、今後も継続されますか。

環境経済部長 今後の高齢化社会を考えると、高齢者が拠点回収の場所まで、ごみを持っていけない状況も出てきます。基本的には戸別回収を継続していく考えです。



後藤 理恵
(志成会)

**フレイル予防による健康寿命の
まちづくりについて**

フレイルとは、加齢に伴う予備能力の低下のためストレスへの抵抗力、復元力が低下した状態とされます。フレイル高齢者は複数の慢性疾患の併存などの影響もあり、身体的、精神的、社会的脆弱性などの多面的な問題を重複しやすく健康被害を招きやすいハイリスク状態です。地域在住高齢者では7.4%がフレイルで、48%が予備群とされています。

しかし、栄養、運動、社会参加などのしかるべき介入や支援により生活機能の維持、向上は可能です。

高齢者人口の増加とともに要介護高齢者及び医療費、介護給付費などの社会保障費も増加の一途を辿り、この抑制は健康長寿大国を目指す我が国における喫緊の課題となっています。

人生100年時代を迎え、高齢者が住みなれた地域で自立し

た生活を維持し、さらに担い手側にもなってもらおう、そういった健康長寿の延伸に向けての取り組みとして、フレイル予防が重要かつ不可欠であると考えます。そこで、本市の現状及び取り組みについてお尋ねします。

市長 昨年末で65歳以上人口が1万6千人を超え、4人に1人が高齢者となり、高齢者のうち6人に1人が要支援介護認定者となっています。市では手軽にできる筋力トレーニングや健康講話を実施し、運動や口腔・栄養について学び、高齢者が元気に自立して過ごせる時間の延伸を目指しています。



常任委員会 審査報告

総務文教常任委員会報告

総務文教常任委員会は、3月9日に開催され、付託を受けた執行部提出案件7件の審査を行いました。主な質疑は次のとおりです。

令和元年度小郡市一般会計補正予算(第9号)の承認について(議案第12号)

学校建設費1億2516万5千円の増額補正は、味坂小学校、三国小学校、小郡小学校、御原小学校、小郡中学校、大原中学校及び立石中学校のトイレ改修の予算を計上しています。国の国土強靱化緊急対策として有利な条件で事業が実施できますので、本年度に設計、翌年に工事ということで集中的に小中学校のトイレの改修を進めるものです。

問・改修の共通仕様を教えてください。
答・便器の洋式化、また、床についてはタイル張りからシート張りにして段差をなくし、乾式化するのが共通仕様です。

保健福祉常任委員会報告

保健福祉常任委員会は、3月10日に開催され、付託を受けた執行部提出案件6件の審査を行いました。主な質疑は次のとおりです。

令和元年度小郡市一般会計補正予算(第9号)の承認について(議案第12号)

地域介護・福祉空間整備等補助金385万円の増額は、認知症高齢者グループホーム等の防災改修に関して、入居者の安全確保等の観点から、国の交付金を活用して補助を行うもので、要望のあった2事業所の工事を行うものです。

問・市内に事業所は、どれくらいありますか。
答・小規模多機能型居宅介護事業所が4、看護小規模多機能型居宅介護事業所が1、定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所が1、認知症対応型通所介護事業所が1、地域密着型の通所介護事業所が4、グループホームが11、地域密着型の特別養護老人ホームが1事業所です。

都市経済常任委員会報告

都市経済常任委員会は、3月11日に開催され、付託を受けた執行部提出案件6件の審査を行いました。主な質疑は次のとおりです。

小郡市工場立地地域準則条例の制定について(議案第11号)

干潟工業団地を区域とする工場立地に係る緑地ならびに環境施設の敷地面積に対する割合を地域の実情に合わせて定める条例です。敷地の有効活用及び企業の市外流出を防ぐため、工場立地法で定める環境施設の割合を25%以上から10%以上に、内数として、緑地を20%以上から5%以上に緩和するものです。

問・緩和措置は、他の工業団地でも適用されますか。
答・適用されるのは製造業なので、現時点では、干潟工業団地のみです。それ以外は、適用されません。

議案の主な内容

★専決処分を報告し、承認を求めることについて(令和元年度小郡市一般会計補正予算(第8号))

(報告第1号)
ふるさと納税推進事業3億9196万9千円の増額補正については、ふるさと納税が12月末までに約5億8千万円の寄附があり、返礼品代の経費が不足し、事業者・生産者への支払いが滞るため、専決処分をしたものです。

★特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例等の一部を改正する条例の制定について(議案第1号)

「小郡市立学校給食センター設置条例」の全面改正に伴う「小郡市学校給食施設等の設置及び管理運営に関する条例」により「学校給食センター運営委員会委員」の名称を「学校給食運営委員会委員」に変更するものです。また「小郡市まちづくり条例作成委員会設置条例」により、付属機関として「まちづくり

条例作成委員会」が設置されることに伴い、当該委員会委員の報酬額を新たに定めるものです。

★職員のサービスの宣誓に関する条例の一部を改正する条例の制定について(議案第2号)

国から会計年度任用職員のサービスの宣誓について、「会計年度任用職員制度の導入等に向けた事務処理マニュアル」の修正が行われたことの通知を受け、本市の会計年度任用職員のサービスの宣誓について、実態に即した方法で行うこととするため、条例の一部を改正するものです。

★議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について(議案第3号)

会計年度任用職員制度の導入に伴い、新たに、給料を支給される職員の補償基礎額について規定する必要があるため、その額を、地方公務員災害補償法第2条第4項に規定している常勤職員の公務災害補償に係る平均給与額の例に

よることとするという規定を新たに設けるものです。

★小郡市文化遺産保存整備基金条例の一部を改正する条例の制定について

(議案第4号)

文化財保護法の改正に合わせ、基金の目的を保存と整備から保存と活用等に変更することに伴い、条例の一部を改正するものです。具体的には、題名を「小郡市文化遺産保存及び活用等に関する基金条例」に改めるものです。

★小郡市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について

(議案第5号)

成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律が施行され、次いで印鑑登録証明事務処理要領の一部改正が行われたことに伴い、印鑑登録をする資格のないものを「成年被後見人」から「意思能力を有しない者」に改正するものです。

★小郡市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

(議案第6号)

平成30年度の国保制度改革に伴う県単位化のもと、現行の保険税率等について、令和2年度以降の激変緩和措置の見直しに伴い、納付金の上昇に必要な納付金を確保していく必要があるため、税率改定を行うものです。

★小郡市営住宅管理条例の一部を改正する条例の制定について

(議案第7号)

国が例示している公営住宅管理標準条例の改正に伴い、住宅困窮者への住宅の供給という公営住宅の本来の目的の妨げとならないように連帯保証人の制度を廃止するものです。

★小郡市下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

(議案第8号)

地方自治法の一部改正に伴い、地方自治法第243条の2の規定が新設され、従前の規定が同法第243条の2の2へと繰り下がるため、同規定を引用している小郡市下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正するものです。

★小郡市学校給食施設等の設置及び管理運営に関する条例の制定について

(議案第9号)

「小郡市立学校給食センター運営委員会」の名称を「小郡市立学校給食運営委員会」に変更するものです。併せて、各小学校の給食調理場を学校給食施設として明確に位置付けるものです。

★小郡市まちづくり条例作成委員会設置条例の制定について

(議案第10号)

令和2年度より策定作業を予定している(仮称)まちづくり条例について、市長の諮問に基づき、条例案の審議、検討を行う「小郡市まちづくり条例作成委員会」の設置について、地方自治法第138条の4第3項の規定に基づき、附属機関の設置条例を制定するものです。

★令和元年度小郡市国民健康保険事業特別会計補正予算(第5号)の承認について

(議案第13号)

介護納付金分26万3千円の減額は、令和元年度における小郡市の国民健康保険事業費

納付金の額が確定したことに伴い、減額となるものです。

★令和元年度小郡市介護保険事業特別会計補正予算(介護保険事業勘定)(第4号)の承認について

(議案第14号)

介護予防・生活支援サービス事業費500万円の減額及び介護予防ケアマネジメント費、負担金150万円の増額です。前者は要支援1から2の方の今年度前半のデイサービスやヘルパーサービス給付実績をもとに、後者は要支援1から2の認定者のケアプラン数の実績をもとに決算見込みを行い補正するものです。

★市道の認定及び路線変更について

(議案第23号)

道路法第8条第2項及び第10条第3項の規定に基づき、議会の議決を求めるもので、新認定路線が12路線。路線の変更が5路線です。

人事案件

【人権擁護委員候補者】

小郡市上西鯨坂
153番地1
永利 眞由美

【人権擁護委員候補者】

小郡市希みが丘
一丁目11番地6
川野 裕佳子

可決された意見書

新型コロナウイルス感染症への緊急対策を求める意見書の提出について

(議員提出議案第2号)

※意見書文面については、小郡市議会ホームページ内「可決された意見書・決議」をご覧ください。

3月定例会議案審議結果一覧

議案番号	事 件 名	審議結果
報告第1号	専決処分を報告し、承認を求めることについて（令和元年度小郡市一般会計補正予算（第8号））	承認
第1号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	可決
第2号	職員のサービスの宣誓に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
第3号	議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
第4号	小郡市文化遺産保存整備基金条例の一部を改正する条例の制定について	可決
第5号	小郡市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について	可決
第6号	小郡市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	可決
第7号	小郡市営住宅管理条例の一部を改正する条例の制定について	可決
第8号	小郡市下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
第9号	小郡市学校給食施設等の設置及び管理運営に関する条例の制定について	可決
第10号	小郡市まちづくり条例作成委員会設置条例の制定について	可決
第11号	小郡市工場立地法地域準則条例の制定について	可決
第12号	令和元年度小郡市一般会計補正予算（第9号）の承認について	可決
第13号	令和元年度小郡市国民健康保険事業特別会計補正予算（第5号）の承認について	可決
第14号	令和元年度小郡市介護保険事業特別会計補正予算（介護保険事業勘定）（第4号）の承認について	可決
第15号	令和2年度小郡市一般会計予算の承認について	可決
第16号	令和2年度小郡市国民健康保険事業特別会計予算の承認について	可決
第17号	令和2年度小郡市後期高齢者医療特別会計予算の承認について	可決
第18号	令和2年度小郡市介護保険事業特別会計予算（介護保険事業勘定）の承認について	可決
第19号	令和2年度小郡市介護保険事業特別会計予算（介護サービス事業勘定）の承認について	可決
第20号	令和2年度小郡市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算の承認について	可決
第21号	令和2年度小郡市工業団地整備事業特別会計予算の承認について	可決
第22号	令和2年度小郡市下水道事業会計予算の承認について	可決
第23号	市道の認定及び路線変更について	可決
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について（永利眞由美氏）	同意
諮問第2号	人権擁護委員候補者の推薦について（川野裕佳子氏）	同意
議員提出第1号	小郡市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議員提出第2号	新型コロナウイルス感染症への緊急対策を求める意見書の提出について	可決

賛否が分かれた案件(案件名については、15ページをご参照ください。)

議員名	佐藤源	深川博英	小坪輝美	小野壽義	高木良郎	大場美紀	立山稔	後藤理恵	古賀敏彦	田代和誠	百瀬光子	田中雅光	新原善信	井上勝彦	山田忠	廣瀬勝栄	佐々木益雄
案件			×														
議案第6号																	

●議長(入江和隆)は表決に参加しません。

5月定臨時例会の会期日程(予定)	
5月14日(木)	委員会改選等
6月定例会の会期日程(予定)	
6月1日(月)	本会議(議案上程)
6月4日(木)	本会議(質疑)
6月5日(金)	総務文教常任委員会
6月8日(月)	保健福祉常任委員会
6月9日(火)	都市経済常任委員会
6月15日(月)	本会議(一般質問)
6月16日(火)	本会議(一般質問)
6月17日(水)	本会議(一般質問(予備日))
6月19日(金)	本会議 (委員長報告と質疑・討論・採決)

議会の傍聴について

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、体調のすぐれない方、せき、くしゃみなどの症状がある方の傍聴はご遠慮いただきますようお願いいたします。

皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

小郡市議会
本会議・常任委員会のインターネット中継がご覧いただけます。

小郡市議会のホームページから、本会議(過去5年間)及び常任委員会の生中継・録画映像がご覧いただけます。

小郡市議会会議録が
ご覧いただけます。

小郡市のホームページから、平成18年5月以降の市議会会議録がご覧いただけます。

なお、令和2年3月定例会の会議録は、6月上旬頃よりご覧いただけます。

議会広報特別委員会

委員長 後藤理恵
副委員長 深川博英
委員 佐藤博源
委員 小坪輝美
委員 大場善信

編集後記

今議会では、令和2年度の予算審査を行いました。

小郡市緊急財政対策計画を基に行われた予算編成の為、誠に心苦しいのですが、市民生活に少なからず影響が出てくることになると思います。

また、新型コロナウイルスの影響でイベント自粛要請に伴う数々の行事の中止や延期、教育現場の混乱、経済活動の停滞など、様々な悪影響が市民生活に影を落としています。

こういう苦しい状況だからこそ、我々議員、市民の皆様方、市職員が一丸となって、力をあわせてこの難局を乗り切っていきましょう。

シェイクスピア作「マクベス」の中にこのような台詞があります。『明けぬ夜はない』(深川博英)